

## ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの状況等

### ◎子ども・若者育成支援推進法（平成 22 年 4 月施行）

- ・「今」を生きる子ども・若者を支えるとともに、「将来」をよりよく生きるための成長を支援
- ・大人がその役割の重要性を認識し、積極的によりよい社会づくりを推進

### ◎枚方市子ども・若者育成計画（平成 25 年 5 月策定）

<基本理念> 子ども若者の社会性を育み、自立を支援すること

- <推進方向>
- ①困難を抱える子ども・若者とその家族を発見し、誘導する仕組みづくり
  - ②困難を抱える子ども・若者の自立に向けた支援体制の確立
  - ③子ども・若者とその家族を社会全体で育む環境づくり

### ◎本市の状況

<推定値> ひきこもり 2,100 人、小中学校不登校 500 人

### ◎行政の果たすべき役割

- ①子ども・若者育成支援施策の総合的推進のための体制整備
  - ・総合的相談窓口「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」の設置など
- ②社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援するためのネットワークの整備
  - ・「枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議」の運営など
- ③社会参加に向けた子ども・若者の居場所の整備
  - ・少人数の集団の中で家族や相談員以外の他者と関わるができる居場所の設置
  - ・社会とのつながりを取り戻すきっかけとして、枚方公園青少年センターの各種事業の実施など
- ④社会的ひきこもりに対する理解を深めるための啓発活動の推進
  - ・連続講座・講演会・各種イベントの開催など

### ◎平成 25 年度の取り組み

- ①ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（平成 25 年 4 月設置）

<対象> 15 歳～39 歳までの本人とご家族

  - ・子ども青少年課に「ひきこもり等総合相談窓口」として開設
  - ・専用相談室を備え、面接相談（事前予約）と電話相談に対応。必要に応じて訪問支援も実施

<相談員>臨床心理士2人、社会福祉士1人

<相談件数>606件(実人数183人)、訪問支援29件(実人数6人)※2月末

<相談内容>ひきこもり39%、不登校16%、就労26%

<相談者>親族93%

<性別>男73%

<年齢>10代35%、20代29%、30代23%

#### ②枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議

・平成24年6月に立ち上げ

・就労支援、精神や障害等の保健・福祉・医療関係、学校等の教育機関、相談窓口等、現在28機関・団体に呼びかけし、参加いただいている。

・現在、2ヶ月に1回全体会議、毎月世話人会議を実施。今後分科会等も行う予定。

#### ③居場所で子ども・若者を支える「サポートフレンド」養成講座 (30人受講、17人登録)

居場所で子どもたちの心に寄り添う身近な存在として「サポートフレンド」を養成

- ・枚方公園青少年サポート講座として実施
- ・座学と支援現場の見学。3月5日から14日まで全3回

#### ④啓発活動の推進

##### ■子ども・若者育成計画策定記念講演会(206人)

平田オリザ氏によるワークショップと講演会「伝える力・通じ合う想い」を開催

(枚方市市政アドバイザー・大阪大学コミュニケーションデザインセンター教授・劇作家)

##### ■市民連続講座「ひとりひとりが自分らしく」(延べ159人)

各回専門の講師を迎え、2月12日から3月7日まで全4回

- ・第1回：不登校・ひきこもり・ニート支援の現在
- ・第2回：ひきこもり・ニート支援の現場より
- ・第3回：ひきこもりと発達障害について
- ・第4回：困難を抱える若者の就労支援について

##### ■枚方市青少年サポートマップの改訂

・相談機関の追加や支援内容を色分けするなどの改訂を行い、昨年12月6000部作成。

・各支所、図書館、生涯学習市民センター、サポートマップ掲載機関、小・中・高校などに配布

◎平成 26 年度の取り組み  
子ども・若者の居場所づくり

〔目的等〕

- ・相談支援センターを開設し、家族との相談から少しずつ本人が相談できるケースが増加（本人からの相談実人数 34 人。のべ件数 148 件。2 月末）。ひきこもり状態から、家族を通して相談員とつながり、現在は相談員との 1 対 1 の関係を積み重ねている。その次のステップとして、スタッフの支援を受けながら少人数の集団の中で、家族や相談員以外の他者と関わる体験ができる場を作る。
- ・自宅以外に外出できる場所がある、決まった時間に決まった場所に継続して参加し続ける、他者との関わり方や社会との折り合いのつけ方を学んだり、自分の得意なことや自分の存在価値に気づいたりすることで自信や自己肯定感をつけ、次のステップである社会へ、また就労へつながってもらうことを目指す。

〔実施日等〕

- ・月 2 回程度から開始し、週 1 回程度の開設を予定。場所は枚方公園青少年センター。
- ・平成 26 年度は運営方法等について検証を行いながら試行的に開設。

〔支援体制〕

コーディネーター 1 名、サポートフレンド数名